
隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第 362 号

—環境・農業・食べ物など情報の交流誌—

2013.12.26 (木) 発行 山崎農業研究所&編集同人

<キーワード>

環境・農業・健康・食べ物などの情報提供、高齢者と若者、農村と都市の
交流ミニコミ誌。山崎農業研究所&『電子耕』編集同人が編集・発行。

<http://www.yamazaki-i.org>

*****発行部数 1081 部*****

□ 目 次 □-----

<巻頭言> なぜ急ぐ、TPP 交渉妥結 小泉浩郎

<定例研究会 (予告) /2014 年 2 月 1 日 (土) >

宇根豊氏 (百姓・農と自然の研究所)

「TPP 問題へのもう一つの視座」

—近代の超克・新しい農本主義・TPP・自給を語る—

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.131』発行されました

<編集後記> 「師走の候」ではあるものの...

<巻頭言> なぜ急ぐ、TPP 交渉妥結

1 年間のご愛読ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

今年の電子耕は、No.344~No.362 を発行しました。巻頭言は、時機を得たテーマが選ばれます。TPP 交渉参加は、関税の問題だけでなく国民の暮らしやこの国のあり方を左右する重大な問題を含んでいます。それだけに半分近く (9 本) でこのテーマを取り上げています。

さきのシンガポールで開かれた TPP 交渉閣僚会合は、目標とした年内妥結を見送りました。何周も遅れて参加したわが国には、話し合いの時間が延びるのですから、当然、歓迎すべきです。ところがなぜか、安倍首相は交渉関係者に早期妥結を指示しています。

気になる発言を思い出しました。特定秘密保護法案審議の参院委員会 (12 月 4 日) で安倍首相は「かつて PKO 法案を成立させた際にも、民間の反対があった。しかし、日本は世界の安全と平和に大きな貢献をしており、あのときの反対論は何だったのか」と答弁しています。

原発再開、TPP 交渉参加、特定秘密保護法などに多くの国民がその問題を読み取り、大きな反対運動を見せています。この国民の怒りを「あれはナンだったのか」と揶揄しています。PKO 法案は特定秘密保護法案の数倍もの国会審議がされました。にもかかわらず、韓国軍に銃弾 1 万発の供与を許す変容が待っていました。

「ねじれ解消、決められる政治」をよいことに国民の声を無視し、拙速でも「決めること」だけを優先しています。早期妥結を急ぐのは、情報秘匿、情報不明のまま国民の知る機会を与えない作戦のように見受けられます。

TPP 交渉に参加して、まだ半年にもなりません。国民に対する情報も説明も不十分です。アメリカの都合、オバマ大統領の事情に合わせる必要はありません。それぞれの「国益」で競い合うのではなく、それぞれの「国柄」を認め合い、人々のいのちや暮らしを守る視点に立てば、特に新興国と連携した新しいうねりが期待できます。

この電子耕も各地に生まれるそうした考え方の小波のひとつになればと考えています。電子耕へのご投稿をお待ちします。

小泉浩郎

山崎農業研究所事務局長

yamazaki@yamazaki-i.org

< 定例研究会（予告）／2014 年 2 月 1 日（土） >

宇根豊氏（百姓・農と自然の研究所）

「TPP 問題へのもう一つの視座」

—近代の超克・新しい農本主義・TPP・自給を語る—

日時：2014 年 2 月 1 日（土） 14：30～17：30

場所：NTC インターナショナル（株）会議室

東京都新宿区四谷 3-5 不動産会館 5F

話題提供：宇根豊氏（百姓・農と自然の研究所）

テーマ：「TPP 問題へのもう一つの視座」

—近代の超克・新しい農本主義・TPP・自給を語る—

参加費：500 円、懇親会：4000 円

問い合わせ先：TEL：03-3357-5916（益永） e-Mail：y.masunaga@ntc-c.co.jp

<お知らせ> 山崎農業研究所所報『耕 No.131』発行されました

山崎農業研究所所報『耕 No.130』が発行されました。

ご希望の方には雑誌を頒布（有料：1,000 円）いたします。

yamazaki@yamazaki-i.org

までご連絡ください。

《土と太陽と》（巻頭言）

こうしてこの「くに」は変わるのか— TPP 交渉の行方◎小泉浩郎

第 37 回山崎記念農業賞贈呈式（長野県辰野町・倉澤久人）

〔選考委員報告〕◎田口 均

〔山崎記念農業賞を受賞して〕◎倉澤久人

〔お祝いの言葉〕◎月岡道孝

総会記念講演：電力需要に応える再生可能エネルギー

I ローカルエネルギーの現状と展望◎渡邊 博

II 小水力発電の現状と課題◎新谷和夫

〔第 145 回定例研究会〕TPP 交渉参加を問う—選択肢は TPP だけか？

I TPP 反対運動について—米韓 FTA から何を学ぶか◎金 哲洙

II ラテンアメリカの「より良く生きる

（vivre bien）運動」に学ぶ◎吉田太郎

特別寄稿：TPP 問題へのもうひとつの視座

・日本とアジア諸国が進むべきはアメリカ式の

「通商国家」への道ではない◎中島紀一

・ナショナルな価値と在所の価値との断絶、

原理主義の希望◎宇根 豊

〈TPP 参加交渉に思う〉

TPP は農村を元気にするか*寒河江 巖／振り上げた拳はどこへ*大河原幸一／
息苦しい未来への心配*多田 敦／酪農・乳業での経済一体化の方向への新た
な方策*石川秀勇／ぶれない農の営みを続けたい*北村 誠

〈随感〉 2011.3.11 東京に一番近い原発・東海第二で
何があったのか...／塩谷哲夫

<編集後記> 「師走の候」ではあるものの...

わたしの職場は都内の首相官邸からそう遠くない場所にある。ふと気がつくと、ヘリが首相官邸上空をぐるぐると飛んでいる。いやな予感がしてネットのニュースを見ると「安倍首相、首相就任から丸1年たった26日、靖国神社訪問」とある。

スーダンでPKO活動中の自衛隊から韓国軍への銃弾無償供与(12/23)、防衛費と公共事業を大幅増額させた来年度予算案の閣議決定(12/24)、少し前には特定秘密保護法案の強行採決(11/26衆議院通過、12/06参議院可決・成立)などもある。いやいや、このやつぎばやの強引さは何なのか。

議会制民主主義・政党内閣制のこの国ではあるものの、たしかに与党・自民党は多数派ではあるものの、有権者としては「ここまでのフリーハンドを与えたつもりはない...」が本音ではないか。

いずれにも共通するのは、議論や歴史的経過の軽視であり、言い換えるならば、政権中枢の独断だ。特定秘密保護法案については審議中、国内からのみならず、国際的にもさまざまな批判を受けたことは記憶に鮮明である。

首相のうごきを見ていると、やりたいことのすべてをやって年を越したいという観がある。たしかに「師走の候」ではあるのだが、それにしても、こんな走り方は大迷惑だ。

2013年12月26日

山崎農業研究所会員・田口 均

yamazaki@yamazaki-i.org

山崎農業研究所編・発行／農山漁村文化協会発売
『自給再考—グローバリゼーションの次は何か』
(発売：2008/11 定価：1,575円)

http://shop.ruralnet.or.jp/b_no=01_4540082955/

たくさんのお書評・紹介記事をいただいています。感謝・感謝です。

◎辻信一さん (文化人類学者、ナマケモノ倶楽部世話人。明治学院大学教授)
グローバルの次は何? ～卒業するゼミ生諸君へ

<http://www.sloth.gr.jp/tsuji/library/column64.html>

◎戒谷徹也さん (大地を守る会)

ブログ：大地を守る会のエビちゃん日記 “あんしんはしんどい”
「自給率」の前に、「自給」の意味を

<http://www.daichi.or.jp/blog/ebichan/2008/12/16/>

◎吉田太郎さん (長野県農業大学校教授、執筆者)

キューバ有機農業ブログ 自給再考の本が出ました

http://pub.ne.jp/cubaorganic/?entry_id=1822182

◎関良基さん (拓殖大学政経学部)

ブログ：代替案 書評：『自給再考—グローバリゼーションの次は何か』

<http://blog.goo.ne.jp/reforestation/e/cb22650fa39384bdd22b61440fa81fa0>

◎大内正伸さん (イラストレーター・ライター)

ブログ：神流アトリエ日記 (3) 「書評『自給再考』」

<http://sun.ap.teacup.com/applet/tamarin/20081204/archive>

◎ブログ：本に溺りたい グローバリゼーションの次は何か

<http://renqing.cocolog-nifty.com/bookjunkie/2009/01/post-841e.html>

◎森川辰夫さん

NPO 法人 農と人とくらし研究センター／資料情報

<http://www.rircl.jp/shiryo.htm>

◎日本農業新聞／書評

(2009/01/19 評者：日本農業新聞編集委員 山田優)

<http://yamazaki-i.org/>

(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)

◎小谷敏さん (大妻女子大学)

日本海新聞コラム「潮流」／「自給」の方へ (2009/01/31)

<http://blog.goo.ne.jp/binbin1956/e/c895f6619b30ba7725e264b4daa75219>

◎白崎一裕さん ((株) 共に生きるために)

月刊とちぎV ネットボランティア情報 vol.158 / しみん文庫

<http://yamazaki-i.org/>

(画面トップの「書評はこちらから」よりアクセス下さい)

◎塩見直紀さん (半農半X 研究所、執筆者)

ブログ：半農半Xという生き方～スローレボリューションでいこう！

立国集。

<http://plaza.rakuten.co.jp/simpleandmission/diary/200812270000/>

◎お願い「<読者の声>の投稿規定・メールの書き方」

1、件名（見出し）を必ず書いて下さい。「はじめまして」は省略して、言いたいことを具体的に。

2、氏名・ハンドルネームは、文末ではなく始めのほうに。

3、1回1テーマ、10行位に。

4、ホームページを持っている人は、文末に URL を。

5、JIS X0208 規格外の文字（機種依存文字）のチェックを。

<http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/networks/check/jisx0208.html>

インターネットで使えない丸数字や半角カタカナ、括弧入り略号などは文字化けの原因です。

次回 363号の締め切りは01月14日、発行は01月16日の予定です。

<本誌記事の無断転載を禁じます>

隔週刊「農業文化マガジン『電子耕』」 第362号

最新号・バックナンバーの閲覧

<http://archive.mag2.com/0000014872/index.html>

<http://nazuna.com/tom/denshico.html>

購読申し込み／解除案内

<http://www.yamazaki-i.org>

2013.12.27（金）発行 山崎農業研究所&編集同人

<mailto:yamazaki@yamazaki-i.org>

*****ここまで『電子耕』*****